

守谷ボランティア NEWS

2021年12月号(毎月1日発行)



<発行> 守谷市民活動支援センター
〒302-0119 守谷市御所ヶ丘5丁目25番1
守谷市市民交流プラザ2階
電話: 0297-46-3370 FAX: 0297-46-3320
Email: moriyaborantia1@themis.ocn.ne.jp
ホームページURL: http://moriya-cac.org/
開館時間: 午前10時～午後6時(午後9時まで延長可)
休館日: 月曜日、年末年始

「もりサポ塾」

学習支援ボランティア講師募集!!

経済的な理由で塾に通うことが難しいと思われる世帯の中学生のために『もりサポ塾』が2022年2月からスタートします。週に1回程度、基礎的な学習支援(5教科)ができる方を募集しています。元教員、大学生など教えることに興味がある方大歓迎です。大人たちの小さな後押しが子どもたちの大きな力になります。ボランティアとして一緒に活動しませんか。

- 日時 毎週木曜日 18:00～20:00
(第5木曜日は休講)
- 会場 市民活動支援センター会議室
- 主催 もりサポ塾運営委員会
- 申込・問合せ先 かわさき
☎080-3016-3312
✉ayak67@icloud.com



歴史講座

「江戸のもてなし」一庶民と遊女に学ぶ

江戸時代の史料「遊女大学教草(文化4年刊)」から、当時の見識、身だしなみ、慈悲などを説き、江戸のホスピタリティを取り上げて学びます。

- 講師 小泉 吉永 (法政大学文学部講師、学術博士)
- 日時 2022年1月15日(土) 13:30～15:30
- 会場 市民活動支援センター会議室
- 定員 先着15名 ●受講料 無料
- 申込期間 12月17日(金)～2022年1月12日(水)
までに電話で申し込む
- 申込先・問合せ先 市民活動支援センター
☎46-3370
- 主催 もりやの歴史を学ぶ会
- 後援 守谷市教育委員会



登録団体活動情報 12月

各団体の活動予定は変更になる場合があります。事前に各問合せ先にご確認ください。

| 団体名 | 場所 | 活動日 | 問合せ先 |
|------------------------|------------------|--------------------------------|------------------|
| 手話サークルふれあい 手話の学習・交流 | 中央図書館・中央公民館 | 毎週金曜日(第5金曜日は休み) 10:00～12:00 | 間宮 45-3066 |
| もりや花のまちづくり 守谷駅西口花壇の整備 | 守谷駅西口花壇 | 最終(月) 9:00～11:00 | 山口 090-2742-2619 |
| 大柏里山の会 谷津田の草刈り、ゴミの回収作業 | 大柏下ケ戸(元はるにわカフェ前) | 第2(日) 9:00～11:00 | 高木 090-1268-0269 |
| 立沢里山の会 里山整備 | 立沢里山 | 第4(土) 9:00～12:00 | 市民活動支援センター |
| 守谷おりがみクラブ おりがみ教室 | 守谷市民活動支援センター | 第2(土) 13:30～15:30 | 川名 090-7242-4888 |

助成金情報

*内容は変更になる場合があります。各HPをご確認ください。

| | |
|-------|---|
| 医療・福祉 | ～12/15 2022年度「社会福祉助成事業」 公益財団法人日本社会福祉弘済会 https://www.nisshasai.jp/fukusijyoseijigyo/jyoseiyokou-2022.html |
| 社会教育 | ～12/20 ジュニアスポーツ振興助成 ヨネックススポーツ振興財団 http://www.yonexsports-f.or.jp/ |
| 医療・福祉 | ～12/31 地域活動団体への助成「生活学校助成」 公益財団法人明日の日本を創る協会 http://www.ashita.or.jp/ |

編集後記

今年の冬至は12月22日。冬至とは、北半球において日の出から日の入りまでの時間がもっとも短い(夜が長い)日のことです。冬至にはかかせないかぼちゃは、体内でビタミンAに変わるカロテンや、ビタミンB1、B2、C、E、食物繊維を含んでいます。また、柚子湯に入る風習もあります。柚子の果皮には、風邪予防や保湿にいとされるビタミンCや、血行改善を促すといわれるヘスペリジンなどが豊富に含まれています。年中行事には植物が欠かせません。昔の人は、経験的に植物の効果を知っていたのでしょうか。これから本格的な冬に入ります。コロナの第6派やインフルエンザを乗り切るためにも、冬至という節目の日に自身の健康について考えてみてはいかがでしょうか。



「犬といっしょに読書」 市民活動支援センター主催の講演会を開催しました！

2021年11月6日(土) 第1部 13:00~15:00 第2部 14:40~15:30 @市民交流プラザギャラリー

緊急事態宣言解除により久しぶりに対面メインのハイブリッド形式で開催しました。会場にはオンライン参加も含めて41名、園児から80代の幅広い世代の方が参加してくれました。この講演会を開催するにあたっては2人の講師のほかにも動物愛護協会の一木さんや中央図書館の石川館長にもご協力いただきました。

第1部の講演会。まずは児童文学作家の今西乃子さん。この日の午前中に都内の小学校でリモート講演会を済ませてから駆け



つけてくれました。会場で準備をしていると、今西さんに「今日来てくれるお子さんは何人いますか？」と聞かれました。「未来ある子どもたちにこの話を知ってほしい」という思いと「小学生でも低学年と高学年では理解度に差があるので学年によって話し方を変えたりする」そうです。開場すると今西さんのもとにファンの方が次々と集まりました。講演では映像と音楽を交え、参加者一人ひとりに語りかけるように、命の可能性と尊さを教えてくれました。ある参加者は「障がいを感じさせないミライちゃん*の映像を観て涙が止まりませんでした」と話してくれました。
*身勝手な人間により虐待を受け殺処分になっていたはずの保護犬

続いて、絵本専門士でセラピードッグのジョン君とレオ君の飼い主でもある飯塚みどりさん。ジョン君を傍らに、レオ君を膝の上に乗せて2冊の絵本を読んでくれました。ジョン君はベテランセラピードッグの風格でとてもリラックスしているように見えました。この日デビューのレオ君もじっとして聞いていました。レオ君は劣悪な環境にいたところを救われ、飯塚さんのもとに来た時は落ち着きがなかったそうです。今回のレオ君の姿をみて読み聞かせに参加させる自信がついたと話していました。



第2部は子どもが犬に読み聞かせをするというユニークなプログラム。読み聞かせをしてくれた2名の様子です。



事前に、応募した理由について作文をいただきました。

犬は人間の言葉がわかると思います。犬にもいい気分になってほしいです。本をよんであげて、もっと仲良くなれるといいです。

小学1年生男の子

今年、愛犬のミロが天国に行きました。この読書会のチラシをみて、本を読んであげたいと目を輝かせています。ミロを思い出しながら犬の温もりをふれさせてあげたいです。

年長女の子のお母さま

この作文を読んだ飯塚さんからも「次の世代を担う方たちがしっかりしていて心強く感じました。ちょっと涙腺が緩みましたが、私も頑張りたい」と返事をいただきました。

当日はマイクとカメラを置いて、ジョン君と子どもだけの空間にして読み聞かせをしてもらい、スクリーンに映して会場のみんで見守りました。2人ともとても上手でジョン君も心地よかったのか目を閉じてゆったり伏せをして聞いてました。

今後、子どもたちに動物愛護活動やもっと本に親しんでもらえるように、読み聞かせは図書館と連携して継続したいと考えています。



〈会場の様子〉